



声のフン

声①

春を迎えるこれからの時期、雪解けが進むと、歩道などに残されたままとなっているペットのフンが目につきます。

ペットのフンが雪解けの水分を含み、汚い状態で残されているため、とても不衛生で不愉快です。

きちんと片付けないマナーの悪い飼い主に、対応策はないのでしょうか？

答①

ペットを飼っている方の多くは、飼育のモラルが高く、散歩時にフンをきちんと処理するなど、マナーを守っています。

しかし、一部の心ない飼い主がフンなどを放置しているため、周辺住民が大変な迷惑を受けていることも事実です。

市は、動物愛護の精神を広め、ペットの適正な飼育を推進することなどを目的に、フンの処理などを含めた、飼い主が守るべきことを定めた条例を制定しています。

この条例に基づき、市は、町内会から推薦された方などを「動物愛護モラル推進員」として委嘱しています。

推進員は、定期的に担当する地区を巡回し、フンがきちんと処理されているか確認し、飼い主へのアドバイスなどを行っています。

市は、推進員の活動報告に基づき、マナーを守らない飼い主に指導するなどの対応を行っています。また、市民の皆さんからの指摘や要望を受けて、公園や歩道、個人宅の前などフンの放置が多発する

ペットの飼い主でマナーの悪い方がいます!!

場所に、注意を呼びかける啓発看板を設置しています。

啓発看板を設置した後、フンの放置がなくなつたという声も多く、マナーを守らない一部の飼い主に対して、看板の設置は一定の効果があります。

また、市は「広報ちとせ」や市のホームページを通じて、フンなどの汚物処理やペットの正しい飼い方の啓発を行い、衛生的な生活環境の保全に取り組んでいます。

歩道などにペットのフンが残されたままとなっていることは、不衛生であるとともに、まちの美観を損ないます。今後とも推進員や関係機関と連携し、指導や啓発を進めます。

また、市は「広報ちとせ」や市のホームページを通じて、フンなどの汚物処理やペットの正しい飼い方の啓発を行い、衛生的な生活環境の保全に取り組んでいます。

市民生活課生活環境係
☎(24)0261



マナーを守ってお互いが気持ちよく過ごしましょう

《60歳代男性》

【ワンポイントメモ】

野良猫に餌を与える方が増えています。自分の与えた餌を猫がおいしそうに食べるようすは、なんともかわいらしく思えますが、その猫のフンが周辺住民を困らせているケースが増えています。フンの管理などを行うことができないときは、餌を与えるのをやめましょう。

案内

「声のラン」では、おもに「市長への手紙・ポスト」や「広報広聴モニター」の声と、その答えをご紹介します。そのほか皆さんからの一般的な質問などもご紹介しますので、普段から疑問に思っていることなどを、お手紙などでお寄せください。ただし、ほかの市民にも参考になる内容を採用させていただくため、個人的なことなどすべてを掲載することはできません。また、質問の内容を確認する必要上、お手紙には必ず連絡先と名前をご記入ください。【〒066-8636 / 千歳市東雲町2丁目34 / 千歳市企画部広報広聴課 宛】